

かき氷屋台 氷

猛暑が続く今日この頃、少しでも皆様に「涼」をお届け出来ればと思い17日にかき氷屋台を企画いたしました。しかし入居者様方は冷たい麦茶より温かいお茶を好んで飲まれる方が多く、開催前は皆さんに召し上がって頂けるのかと不安でした。しかし蓋を開けてみると予想以上に多くの入居者様が、「私にもちょうだい！」「練乳かけて」など率先して召し上がって下さり大繁盛となりました。



入居者様には「涼」をお届けできた反面スタッフは氷を削るのが思ったより大変で皆汗だくになってしまいました。しかし皆さんの笑顔を糧に来年も頑張っって削ろうと思います！！

暑いよ～……



広報紙

月刊シエル

社会福祉法人晃和会
特別養護老人ホーム

シエル名島

平成30年9月号

社会福祉法人 晃和会
〒813-0043
福岡市東区名島3丁目52番5号
TEL 092-673-1800
FAX 092-673-2626

デイサービスセンター名島



8月のデイサービスの創作活動は、朝顔の壁画を作りました。

利用者様には、丸く切った紙に、絵の具で色付けをしてもらい、色とりどりの朝顔が出来上がりました。

写真と朝顔をすだれに飾り付けをして、暑い日々が少し涼しくなるような作品に仕上がりました。

9月には買い物レクリエーションを予定しています。皆様が楽しめるようにスタッフ一同頑張ります。

生活相談員：木村・市川・満生



9月1日は防災の日です



日本各地では地震や台風、豪雨などによる災害が多く発生しています
防災において「自助」「共助」「公助」という言葉を耳にされた事がありますか

「自助」とは、自分の命は自分で守ること

「共助」とは、家族や町内会など顔が見える範囲の地域で力を合わせる事

「公助」とは、災害の事前・事後の公的な対応を言います

「自助」が防災の基本と言われています

自分を守る事が出来て、「救助される人」から「救助する人」になるわけです

それは次の「共助」へつながる事になります

大きな災害になればなるほど「公助」が行き届きにくくなります

だから「自助」「共助」が重要となります



そのための準備として

- ①地域のハザードマップなどで避難場所を知っておく
- ②緊急避難グッズ・非常食
- ③家具の転倒防止
- ④地域での防災訓練などへの参加等があげられます

当施設では災害に備え、

非常食として、100人×2日分=600食を備蓄しています

もちろん常食からソフト食に加え、水、器や箸などもです

施設の建物は地震に対する耐震性もあります

職員による年に二回の防災訓練も実施しています



また災害時の近隣の住民の受入れも検討しています

万が一に備え、ご家庭でも確認しておきたいですね